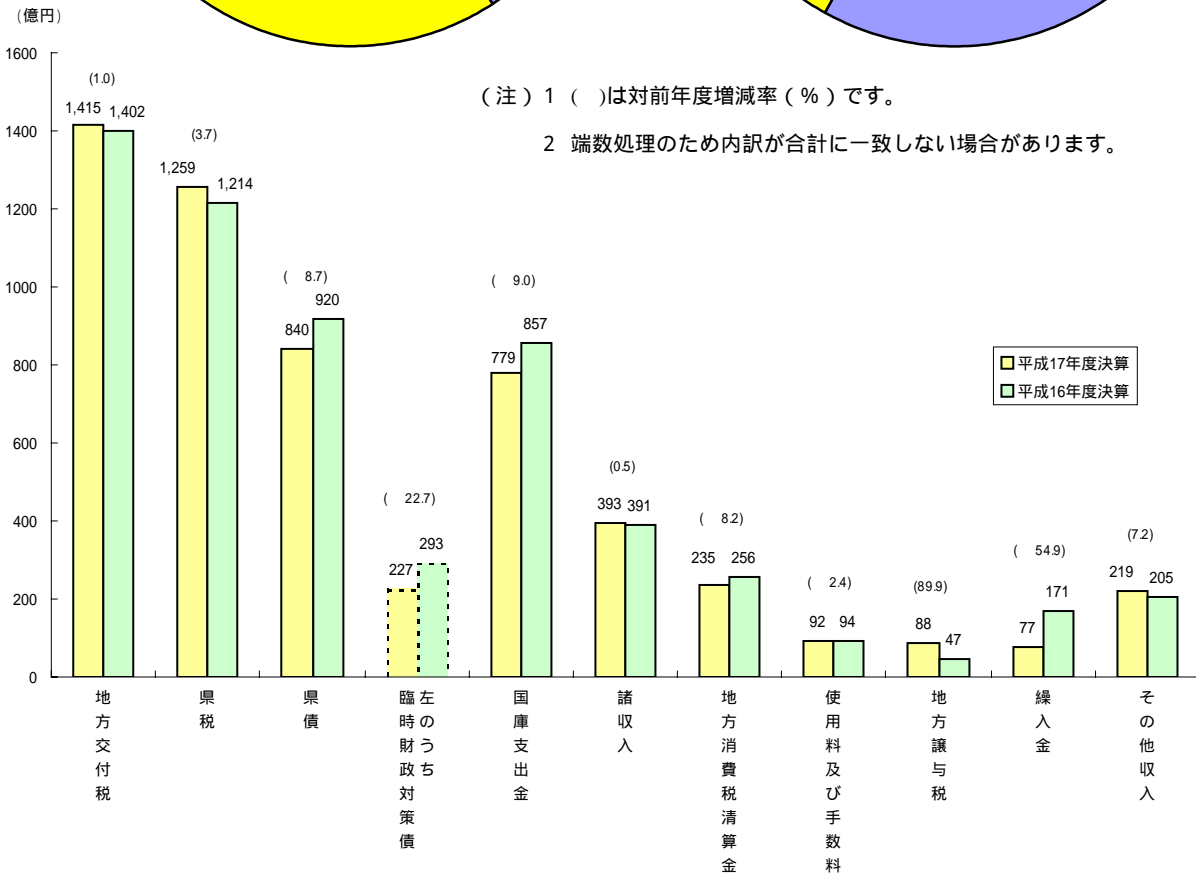
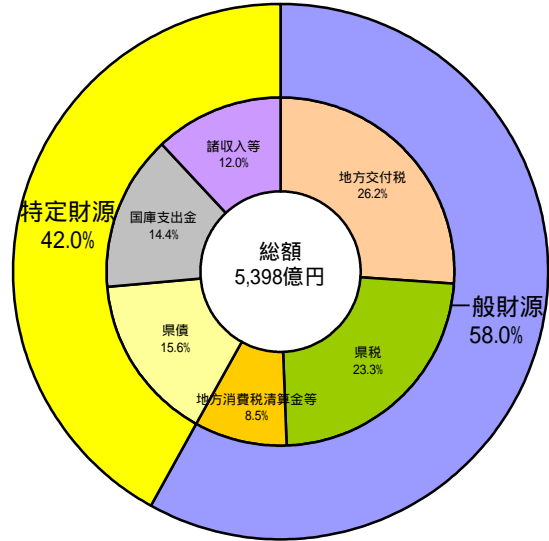
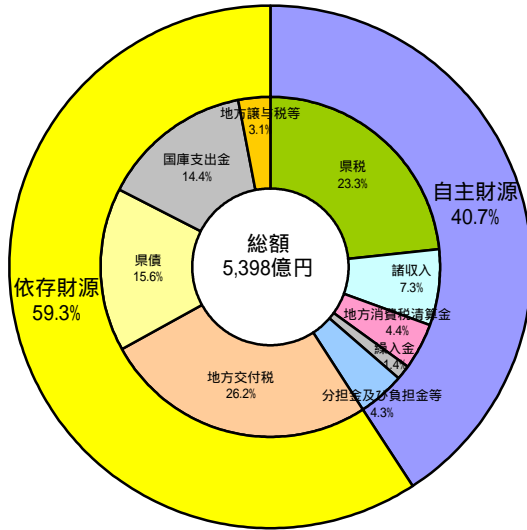


# 歳入、歳出それぞれについて詳しく教えてください。

## 一般会計歳入の状況 (H17 決算)

歳入自主財源・依存財源別

歳入一般財源・特定財源別

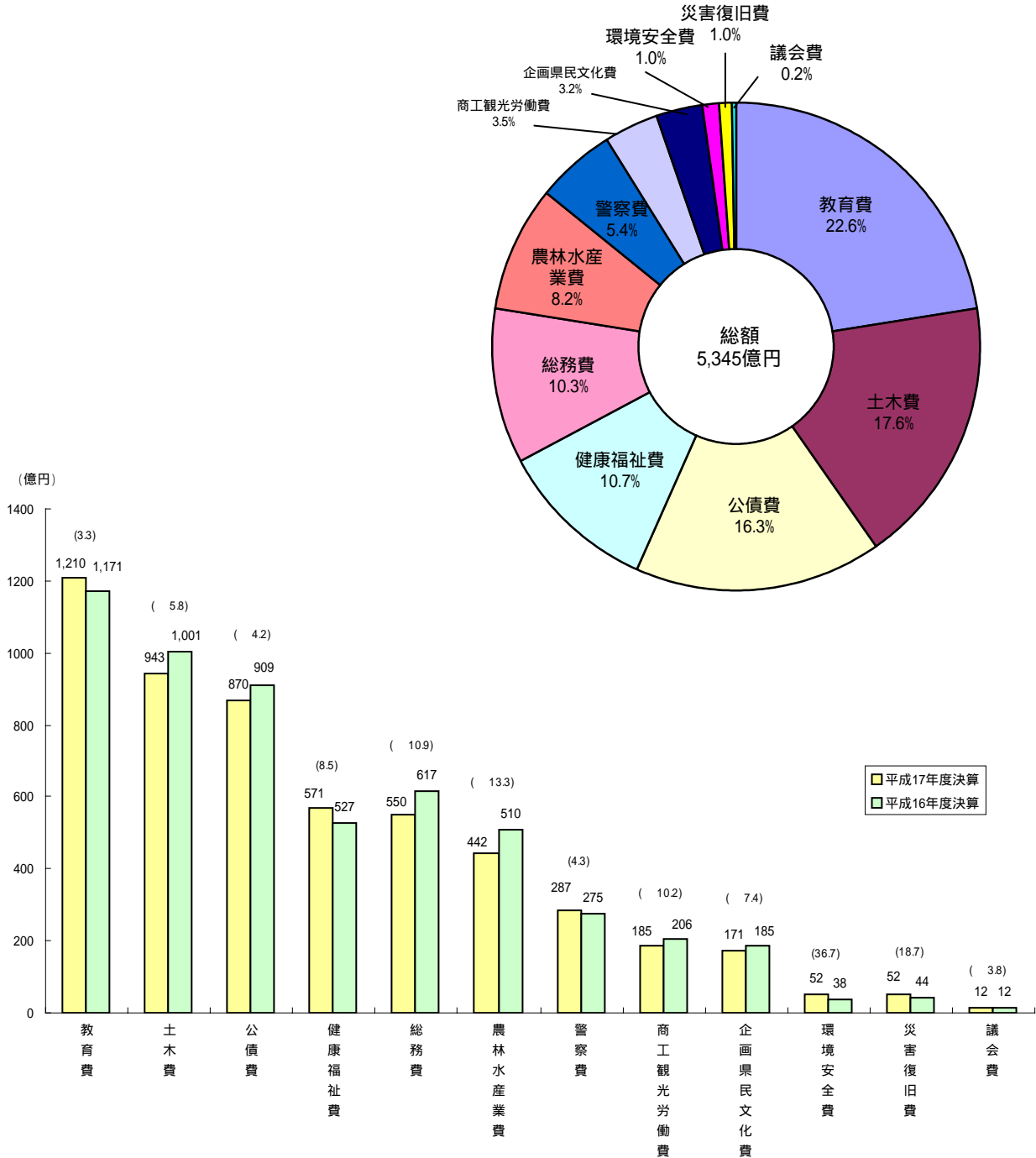


地方交付税は、対前年度比 1.0%、13 億円の増となりました。

県税は、法人関係税が対前年度比 6.2%、24 億円と 3 年連続の増収になるなど、全体として対前年度比 3.7%、45 億円と 2 年連続で増加しました。

県債は、地方債発行抑制や事業費の縮減に努めたことや臨時財政対策債の発行額が減少したため、対前年度比 8.7%、80 億円の減となりました。

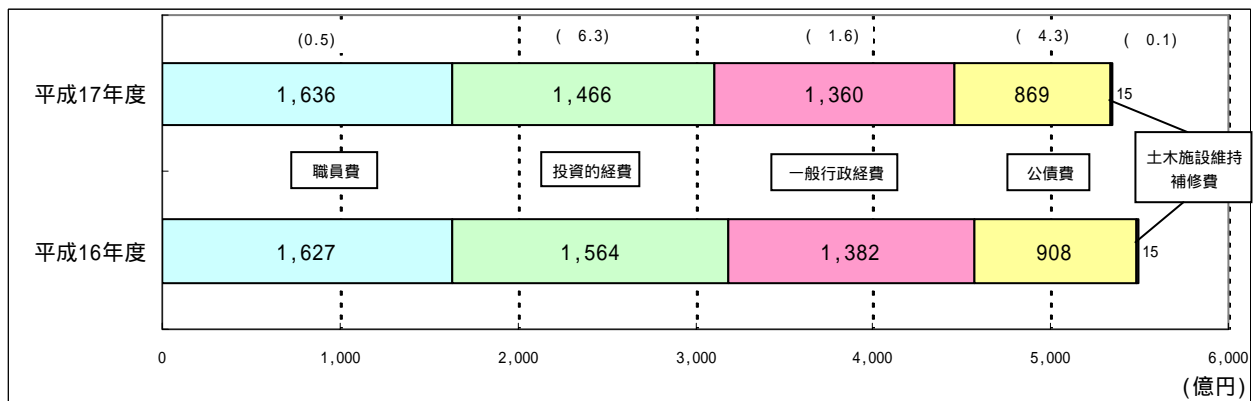
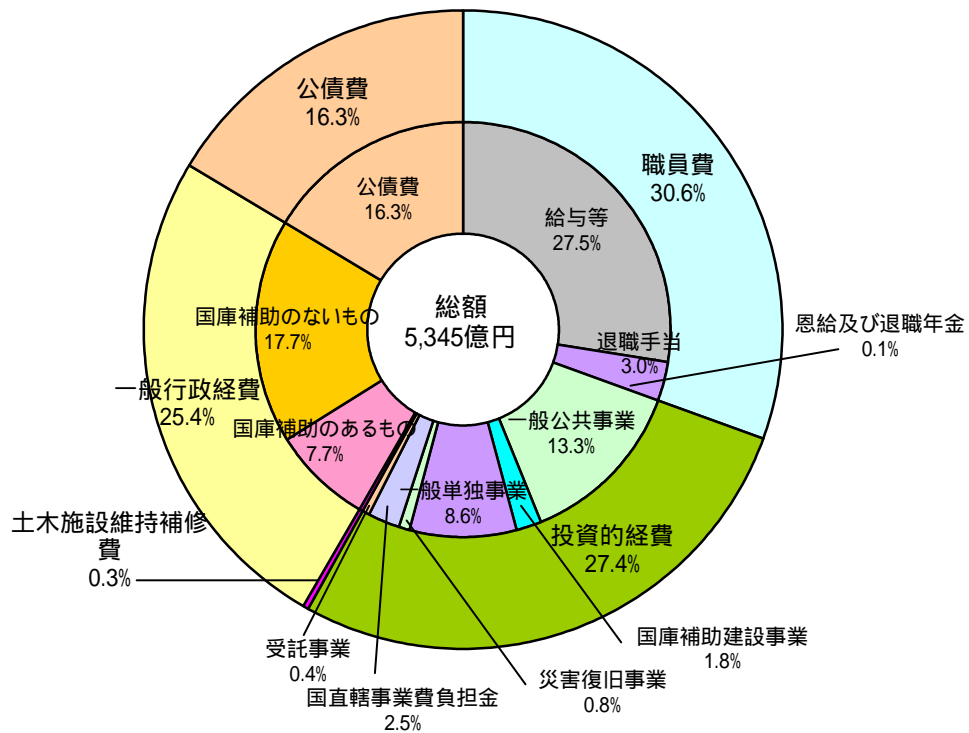
一般会計歳出の状況（目的別（款別）内訳）（H17 決算）



歳出を目的別（款別）にみると、構成比では教育費 22.6%が最も大きく、次いで土木費が 17.6%、公債費が 16.3%となっています。

総務費は、県立大学の整備が終了したことなどから対前年度比 10.9%、農林水産業費は、公共事業などの投資的経費の抑制に伴い対前年度比 13.3%の減となりました。

一般会計歳出の状況（性質別内訳）（H17 決算）



歳出を性質別にみると、構成比では職員費が 30.6%と最も多く、投資的経費が 27.4%、一般行政経費が 25.4%となっています。

職員費は、平成17年度が早期退職優遇制度の最終年度により、退職者が増加し、退職手当が増加したため、対前年度比 0.5%の増となっています。（退職手当を除く職員費は、対前年度比 0.8%の減）

投資的経費は順次抑制することとしており、重点化やコスト縮減に努め総額の抑制を図った結果、対前年度比 6.3%の減となりました。